



桑園駅のキハ141系石狩当別行き

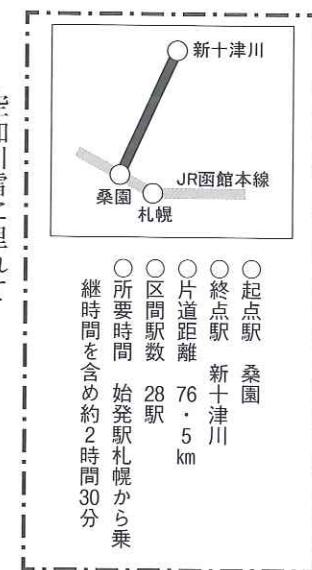
のJR札沼線に乗った。現実には、札沼線は石狩川流域を走り、空知川は石狩川の支流としてずっと遠くを流れているのだが……。しかし、川の名前が何であろうと、ほとんど色彩を消し去つた石狩平野の風景は、十分に魅力的であった。その石狩川は、あいの里公園駅から石狩太美駅の間に渡つた。長い長い鉄橋から、流れと岸との境も定かでない幅広い川が見渡せる。人の姿はおろか鳥の影すらもない。

札沼線は、1930年代に札幌から留萌本線の石狩沼田まで開通したが、太平洋戦争中にレールの供出などで一部休止に追い込まれた。戦後に再び全通したものの、沼田方面の炭坑閉山などで輸送量が激減し、72年に新十津川以北が廃止されていまの姿になつた（T氏のサイト）。路線名だけが昔の名前で残つているようだ。こ



石狩川

こんな風景を想像し、あるいは期待して真冬  
空知川雪に埋れて  
鳥も見えず  
岸辺の林に人ひとりぬき  
(啄木)



## II

## JR 札沼線（北海道）

啄木の世界を思い描きながら